

新刊 (八月發行)

- 中央公論
- 無名通信
- 帝國文學
- 婦女新聞
- 日曜新聞
- 新文藝
- 歷史地理
- 中學世界
- 小學校
- 東京美術學校々友會月報(非賣品)
- 新潮
- 方寸
- 學燈
- 文庫
- 心の花
- 實業界
- 日本美術
- 婦女界
- 新公論
- 白樺
- 早稻田文學
- 文藝俱樂部
- 少年パツク
- 明治の家庭
- ハガキ文學
- 家庭の友
- 建築雜誌
- 貴婦人
- 新公論
- 三越タイムス
- 婦人衛生會雜誌
- 教育學術實驗界
- 土佐圖書俱樂部
- 婦人の友
- 昆蟲世界
- 美術新報
- 寫真界
- 書畫骨董雜誌

『みづゑ』殘本特價發賣

(甲) 四十四(尾瀨沼號)

壹部送料共金十錢

他は全部品切○郵券代用にて割増を要せず

■大下藤次郎筆水彩風景畫帖第一、二枚一組殘本あり、送料共金三十錢なり、印刷の精緻は他に比なく、著者に於ても満足されしもの故、畫を學ぶ人の好參考品たること申迄もなし(郵券代用差支なし)

會告

(後付の二)

■水彩畫に關する意見、展覽會、寫生會等の報導、其他美術に關する小品文等の投書を募る

■寫真版として挿入すべき鉛筆畫、一色畫、水彩畫等の寫真若くは繪畫を募る

■中繪として挿入すべき石版三色以内の圖案及び繪畫を募る、但し繪の大きさは各號の本誌を見られよ

■文章は一行二十字詰にしてなるべく簡單に字體明瞭に認めらるべく、假名は平假名に限る

■質問は水彩畫に關する技術上の事項に限る

■『讀者の領分』投稿はなるべく一般に利益ある問題に限る、個人間の應答』の如きはお断り

■以上編輯ノ切は前月十日、但中繪は前々月中に送らるべく且その發表の月の季節に適せしものを望む

■投稿は注文書其他と同一紙に認むべからず

■投稿の繪畫及文章は一切返戻せず

■投稿の繪畫及文章にして本誌に登載せしものうち優秀なる作に對しては小水彩畫一葉を贈るべし

■初學者のために當分肉筆臨本を頒つ ○肉筆臨本は一枚に付送料共金貳圓拾錢 ○圖柄及び畫幅の大小を指定する事を得ず ○着金後二週間以内を送附すべし

■日本水彩畫會々友規定並びに同研究所規定は往復はがきにて本會に申出あれば送呈すべし、但往復ハガキ返信用の方へ宛名を書いたのは無効

以上